

北方資料展示

のぞき見  
北海道と  
絵の世界

会期：2015年1月31日（土）～4月19日（日）

会場：北方資料室展示コーナー

## 三岸好太郎

1903年に札幌で生まれ、札幌第一中学校では林竹治郎の教えを受けます。卒業後は親友である俣野第四郎とともに上京し、職を転々とする苦しい生活に追われながらも、独学で絵の勉強を続けます。

1924年「第2回春陽会展」で春陽会賞を首席で受賞します。画壇においてまったくの新人であったこともあり、数々の賛辞が送られ注目を集めました。その後スランプに陥り評価は低迷します。

再び脚光を浴びたのは、1929年「第7回春陽会展」に出展した『少年道化』で、それを契機に勧誘のあった独立美術協会に、最年少メンバーとして創立から携わります。その後、独立展出展者で結成した北海道独立美術作家協会に指導的な立場で参画し、故郷である札幌で個展を開くなど活躍しましたが、31歳で若くして急逝しました。

No.	書名情報	著者名	出版者	出版年	請求記号
1	黄色い鋼鉄船	北海道立三岸好太郎 美術館 // 編集	北海道立三岸好太郎 美術館	1994	720.69/KI
2	北方のモダン	北海道立三岸好太郎 美術館 // 編	北海道立三岸好太郎 美術館	1994.10	720.69/KI
3	三岸好太郎	工藤 欣弥 // 著	北海道新聞社	1988.4	708/MY/ 8
4	三岸節子画集 [第1集]		求竜堂	1980.2	723.1/MI
5	三岸好太郎全画集		朝日新聞社	1983.9	723.1/MI
6	三岸節子修羅の花	林 寛子 // 著	学陽書房	1997.1	723.1/MI
7	花こそわが命	三岸 節子 // 著	求竜堂	1996.10	723.1/HA
8	美の使徒-林竹治郎とそ の教え子たち	林 竹治郎 // [ほか 画]	北海道立三岸好太郎 美術館	1998	723.1/HA /1
9	三岸節子と尾西市三岸節 子記念美術館	三岸 節子 // [画]	北海道立三岸好太郎 美術館	1999.10	723.1/MI
10	三岸好太郎と北海道立三 岸好太郎美術館	三岸 好太郎 // [画]	北海道立三岸好太郎 美術館	1999.10	723.1/MI/ 1
11	三岸好太郎展	北海道立三岸好太郎 美術館 // 編集	三岸好太郎美術館 (北海道立)	2003	723.1/MI/ 1
12	感情と表現	三岸 好太郎 // 著	中央公論美術出版	2004.5	720.4/KA
13	日本近代洋画と三岸好太 郎 Part1	三岸好太郎美術館 // 編集	北海道立三岸好太郎 美術館	2009.9	723.1/MI/ 1-1

No.	書名情報	著者名	出版者	出版年	請求記号
14	日本近代洋画と三岸好太郎 Part2	三岸/好太郎 // [ほか 画]	北海道立三岸好太郎 美術館	2010.9	723.1/MI/ 2-1
15	三岸黄太郎展	三岸/黄太郎 // [画]	北海道立三岸好太郎 美術館	[2012]	706.9/MI/ 1
16	青春の軌跡	北海道立三岸好太郎 美術館 // [ほか]編	北海道立三岸好太郎 美術館	1991	720.69/S E
17	三岸好太郎と三岸節子展	三岸 好太郎 // [画]	朝日新聞社	1992	720.69/MI
18	三岸好太郎と三岸節子の 花	三岸 好太郎 // [画]	北海道立三岸好太郎 美術館	1996	723.1/MI
19	三岸好太郎展 生誕 110 年	北海道立三岸好太郎 美術館 // 編	北海道立三岸好太郎 美術館	[2013]	720.69/MI /1

## 神田日勝

1937年、日中戦争のさなかに東京で生まれました。8歳の頃に東京大空襲があり、戦災者集団帰農計画に基づいて拓北農兵隊に加わり、一家で十勝の鹿追町に移住します。中学卒業後は、地域の青年団の中で演劇や相撲、釣りなどに積極的に取り組む快活な青年として成長し営農を継ぎますが、絵画への関心は強く、東京芸大に進学した兄・一明の影響で、本格的な油絵の制作をはじめます。

1956年、はじめて帯広の公募展「平原社美術協会展」に『瘦馬』を出品し、入賞します。その後の評価も高く、若くして全道展会員となり、「独立美術選抜展」や「第1回北海道秀作美術展」などにも出展し活躍しました。

1970年、最後の完成作となる『室内風景』を「25周年記念全道展」に出展しましたが、多忙な生活のなか無理を続けたことで、体調は悪化し32歳で他界します。また制作途中で病に倒れた『馬（絶筆）』は神田日勝記念美術館のシンボルマークとしても有名です。

No.	書名情報	著者名	出版者	出版年	請求記号
20	神田日勝の世界	神田日勝 // [画]	北海道立近代美術館	1978.2	706.9/HO
21	神田日勝画集		北海道新聞社	1978.2	723.1/KA
22	神田一明画集	神田 一明 // 著	神田一明	1999.8	723.1/KA
23	神田日勝デッサン集	神田 日勝 // [画]	北海道新聞社	1999.10	723.1/KA
24	神田日勝の世界	鈴木 正実 // 著	北海道新聞社	2003.4	723.1/KA
25	神田日勝	神田 日勝 // [画]	神田日勝記念館	1999	706.9/KA
26	神田日勝	神田 日勝 // [画]	神田日勝記念美術館	2009.8	706.9/KA
27	神田日勝	神田/日勝 // [画]	馬事文化財団	2011.9	706.9/KA
28	神田日勝	神田 日勝 // 著	北海道新聞社	1995.10	723.1/KA

## 木田金次郎

1893年、岩内で6人兄弟の次男として生まれます。

17歳の頃、実家の漁業が不振に陥り、通っていた東京にある京北中学を中退し、岩内に戻ることを余儀なくされます。岩内への帰途、女子尋常高等小学校で開催されていた「黒百合会第3回展」で、有島武郎が描いた『たそがれの海』に深く感銘をうけ、数日後には書きためたスケッチを抱えて有島の家を訪問します。岩内に戻り漁業に従事する毎日のなか、有島との書簡でのやりとりで岩内にとどまり、そこでしか描けない自然風景を描くことを決意します。

1954年、市街地の8割を焼失した岩内大火により、それまで描き溜めた作品約1500点あまりを焼失してしまいます。しかし、その後も精力的な創作を続け、生涯を岩内から離れることなく独自の画境を切り開き、1962年、享年69才で逝去しました。

No.	書名情報	著者名	出版者	出版年	請求記号
29	木田金次郎画集	岩内ロ-タリ-クラブ創立二十周年記念事業委員会 // 編	岩内ロ-タリ-クラブ	1982.5	723.1/KI
30	木田金次郎山ハ空へモレアガル	斉藤 武一 // 著	北海道新聞社	2007.2	723.1/KI
31	木田金次郎と1950年代展	岡部 卓 // 編集	木田金次郎美術館	2008.2	706.9/KI
32	「モレアガル山」展	木田 金次郎 // [画]	木田金次郎美術館	1998.7	706.9/KI
33	孤高と交流	木田 金次郎 // [画]	木田金次郎美術館	2001.7	706.9/KI
34	木田金次郎「第一回個展」の頃	木田金次郎美術館 // [編]	木田金次郎美術館	2013.7	706.9/KI
35	もうひとつの木田金次郎	木田金次郎美術館 // 編	木田金次郎美術館	2012.4	706.9/KI


## その他

No.	書名情報	著者名	出版者	出版年	請求記号
36	岩橋英遠展	岩橋 英遠 // [画]	朝日新聞社	2002.2	721.9/I/1
37	日本画家・岩橋英遠”虹”を旅する	滝川市美術自然史館 // 編	「生誕 110 年記念岩橋英遠展」実行委員会	2013.9	706.9/NI
38	日本画家岩橋英遠資料集	岩橋 英遠 // [画]	滝川市美術自然史館	2005.3	721.9/I
39	久本春雄画集		久本春雄顕彰会	1979.6	723.1/HI
40	国松登画集	国松 登 // 著	エルム画廊	1977	723.1/KU
41	国松登展	国松 登 // [画]	北海道新聞社	1985	706.9/HO
42	小川原脩画集	小川原 脩	共同文化社	1994.10	723.1/O
43	小川原脩展	小川原 脩	北海道立近代美術館	1988	706.9/O
44	小谷博貞作品集	小谷 博貞 // 著	共同文化社	1996.3	723/KO/1
45	松樹路人展	松樹 路人 // [画]	北海道立近代美術館	1997	723.1/MA/1
46	松樹路人展	松樹 路人 // [画]	網走市立美術館	2002	723.1/MA
47	松樹路人展	松樹路人 // [画]	茅野市美術館	2011.7	723.1/MA
48	上野山清貢画集	上野山 清貢 // [画]	北海道新聞社	1982.2	723.1/U
49	上野山清貢展	北海道立近代美術館 // 編	北海道立近代美術館	1981.5	706.9/HO/1
50	森田沙伊展図録	北海道立近代美術館 // 編	朝日新聞社	1980	706.9/HO
51	中村善策展	北海道立近代美術館 // 編	北海道立近代美術館	1978	706.9/HO
52	中村善策展	中村 善策 // [画]	市立小樽美術館	1993	706.9/NA
53	難波田竜起展	北海道立近代美術館学芸部 // 編	北海道立旭川美術館	1982	706.9/HO/1
54	能勢真美展	能勢 真美 // [画]	北海道立帯広美術館	1996	706.9/NO
55	片岡球子	片岡/球子 // [画]	札幌芸術の森美術館	2010.4	721.9/KA/1
56	片岡球子画集	片岡/球子 // 著	マリア書房	2009.10	721.9/KA
57	北の巨匠岩橋英遠・片岡球子展	岩橋 英遠 // [画]	NHK 札幌放送局	2003	706.9/I/1

No.	書名情報	著者名	出版者	出版年	請求記号
58	たくぎんカレンダー絵画 集		北海道拓殖銀行	1980.3	723.1/TA
59	画家たちの原風景	堀尾真紀子 // 著	日本放送出版協会	1986.9	720.28/HO
60	人生を奏でる二組のデュ オ	北海道文学館 // 編集	北海道立文学館	2007.2	281/J

## 雑誌

No.	書名情報	記事名	出版者	出版年
61	北方ジャーナル 6巻3号	表紙「花と蝶」(三岸好太郎 // 画)	北方ジャーナル社	1977.3
62	北方ジャーナル 6巻4号	表紙「支那の少女」(三岸好太郎 // 画)	北方ジャーナル社	1977.4
63	北方ジャーナル 6巻5号	表紙「二人の姉妹」(三岸好太郎 // 画)	北方ジャーナル社	1977.5
64	北方ジャーナル 6巻6号	表紙「飛ぶ蝶」(三岸好太郎 // 画)	北方ジャーナル社	1977.6
65	北方ジャーナル 6巻7号	表紙「旅愁」(三岸好太郎 // 画)	北方ジャーナル社	1977.7
66	北方ジャーナル 6巻8号	表紙「北大のポプラ並木」(三岸好太郎 // 画)	北方ジャーナル社	1977.8
67	北方ジャーナル 6巻10号	表紙「ぼたん」(木田金次郎 // 画)	北方ジャーナル社	1977.10
68	美術ペン 14号	追悼特集 神田日勝・大月源二	大丸藤井	1971.9
69	屯田 39号	表紙「軍服姿の父」(難波田龍起 // 画)	北海道屯田倶楽部	2006.4
70	O.tone オトン 7巻3号	会いに行ける名作2「神田日勝『室内風 景』(1970年)」	あるた出版	2012.3
71	O.tone オトン 7巻7号	会いに行ける名作6「片岡球子『葛飾北 斎』」	あるた出版	2012.7
72	O.tone オトン 7巻12号	会いに行ける名作10「中村善策『幾山 河』」	あるた出版	2012.12
73	北方圏 162号	新・北の美57「久本春雄『曠野』」	北方圏センター	2013.1



北方資料室展示 目録  
「のぞき見 北海道と絵の世界」

発行年：平成 27 年 4 月

編集：北海道立図書館 北方資料室

発行：北海道立図書館

〒069-0834 北海道江別市文京台東町 41 番地

TEL：011-386-8521 FAX：011-386-6906

URL：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>

